

資源循環部

実施計画事業

令和 8 年度 事務事業等の総点検

実施計画事業		会計	一般会計	款	5	項	1	目	1	説明資料	21	項目番号	2(2)
事務事業名	減量化・資源化啓発事業									所管部課名	資源循環部		
											廃棄物対策課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施内容や実施方法が具体的に規定されている業務						
根拠法令	廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例/ポイ捨て防止及び環境美化を推進する条例						
実施計画	大柱	未来につなぐ環境の保全・創出				分野別計画	一般廃棄物(ごみ)処理基本計画
	中柱	自然環境の保全・活用と循環型社会の推進					横須賀市食品ロス削減計画
	小柱	③循環型社会の推進					
目標	市民に対し、啓発活動を行うことで、市民の環境配慮や循環型社会への意識を向上させ、ごみの減量化・資源化を推進する。						
目標達成に必要なこと	ターゲット層に応じた手段・媒体(対面／オンライン、紙／電子等)を選択し、ニーズや問い合わせ傾向等の情報を踏まえて内容・表現を工夫した啓発活動・刊行物を継続的に実施する。						
具体的な事業内容	・「ごみと資源物の分け方・出し方パンフレット(日本語・外国語)」の発行 ・子どもごみ教室の開催 ・海洋プラスチックごみ削減に向けた普及啓発 ・ごみトーク及びごみ問題学習会の実施 ・横須賀市食品ロス削減計画に基づいた啓発活動 ・ポイ捨て防止および路上喫煙防止に関する啓発活動						

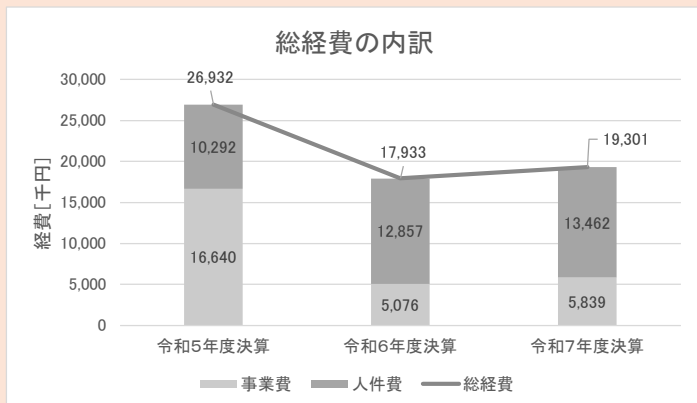
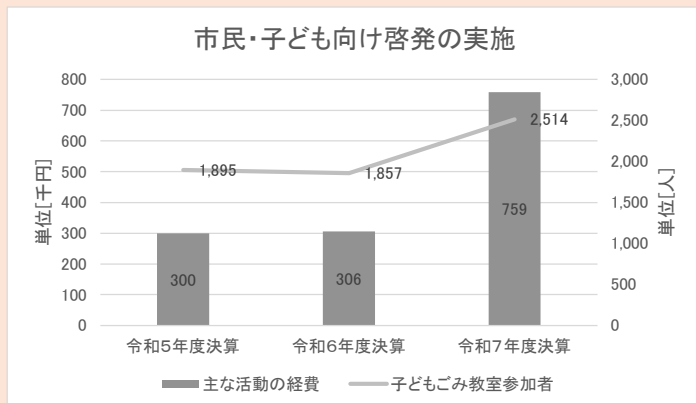
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するためにを行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
① 市民・子ども向け啓発の実施	子どもごみ教室参加者	1,895	1,857	2,514	人
その他の活動実績	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
② 食品ロス啓発授業の実施(保育園)	参加者	—	167	223	人
③ 海洋プラスチックごみ啓発イベントの実施(一般市民/抽選)	参加者	—	34	131	人

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	16,640	5,076	5,839	6,962	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	300	306	759	660	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）	16,340	4,770	5,080	6,302	千円
b 人件費	10,292	12,857	13,462	12,467	千円
正規職員	1.1	1.5	0.8	0.8	人
再任用職員（短時間を含む）	0.2	0.0	1.1	1.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	26,932	17,933	19,301	19,429	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R 5 年度⇒R 6 年度	特になし	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R 6 年度⇒R 7 年度	特になし
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等)	令和5年度は、分別ルール変更に伴い、パンフレットの更新・印刷・配布等を実施したため、総経費が他年度より高くなっている。 人件費について、令和7年度は、啓発事業を一体的に実施する観点から、ポイ捨て防止啓発事業を減量化・資源化事業へ統合したことに伴い、増加している。 令和7年度の主な活動経費が増加した主な要因は、子ども向け啓発冊子を紙媒体から電子媒体へ移行するに当たり、導入経費が生じたため。 また、その他の活動では、海ブラ啓発イベントの内容の充実や開催回数の拡充を行った結果、参加人数が前年度に比べて増加した。		
今後の事業 の方向性	ごみの減量化・資源化の普及・啓発は、環境保護と持続可能な社会を実現するために恒久的に取り組むべき重要な課題である。 ごみ処理の削減により、環境負荷の軽減が期待されるため引き続き本事業を継続していく。 また、ターゲット層に応じて、オンライン・対面、電子・紙等を使い分け、効果的な周知啓発を行う。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	5	項	1	目	1	説明資料	25	項目番号	4(1)
事務事業名	クリーンよこすか推進事業								所管部課名	資源循環部		
										廃棄物対策課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例						
実施計画	大柱	未来につながる環境の保全・創出				分野別計画	一般廃棄物(ごみ)処理基本計画
	中柱	自然環境の保全・活用と循環型社会の推進					
	小柱	③循環型社会の推進					
目標	「私たちの町は私たちの手によって」を合言葉に、きれいで明るく住みよい心豊かなまちづくりの実現						
目標達成に必要なこと	クリーンよこすか運動を周知・啓発し、きれいで明るく住みよい心豊かなまちづくりのために重要となる市民の「自分ごと」としての意識向上を図る。また、運動母体の「クリーンよこすか市民の会」及び「クリーンよこすか地区市民の会」の活動を支援し、クリーンよこすか運動の普及を図る。						
具体的な事業内容	・ポイ捨て防止、路上喫煙防止などの街頭キャンペーンの実施 ・クリーンよこすか市民のつどいの開催及び運営 ・横断幕やポスター、立看板を用いたクリーンよこすか運動の啓発 ・すかGOMIイベントを通じた若者向け啓発						

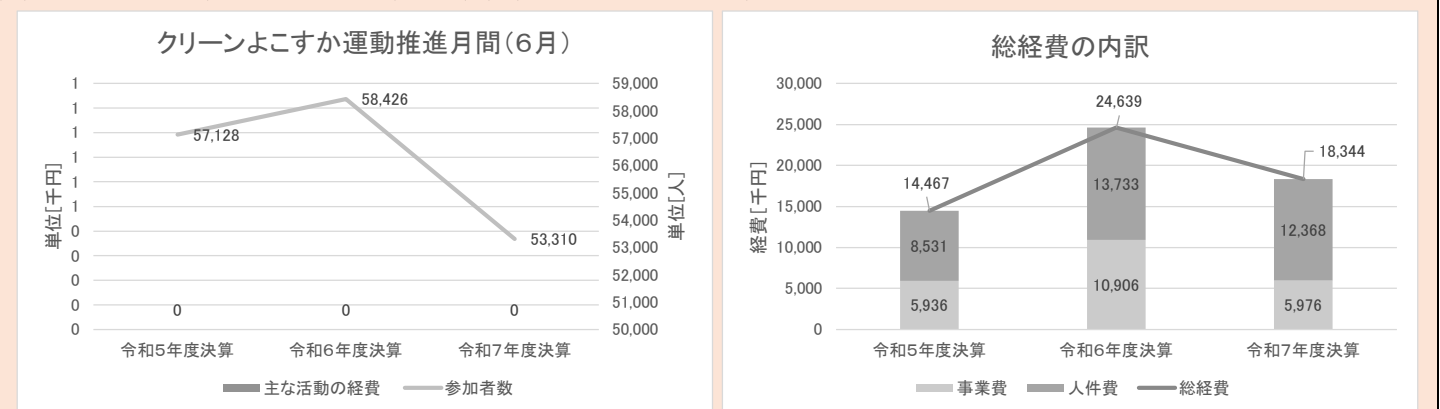
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するためにに行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
① クリーンよこすか運動推進月間(6月)	参加者数	57,128	58,426	53,310	人
その他の活動実績	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
② クリーンよこすか運動強調月間におけるキャラバン隊キャンペーン(10月)	参加者数	1,620	1,784	1,074	人
③ クリーンよこすか運動 ポスター・標語	応募件数	1,494	1,269	1,064	点

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	5,936	10,906	5,976	6,379	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）					千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）	5,936	10,906	5,976	6,379	千円
b 人件費	8,531	13,733	12,368	12,619	千円
正規職員	0.7	1.2	1.0	1.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	2,654	3,448	3,435	3,766	千円
総経費（a + b）	14,467	24,639	18,344	18,998	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R5年度⇒R6年度	50周年ということもあり、各地区での働きかけを活発に行った。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R6年度⇒R7年度	特になし。
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等)	令和7年度は、50周年記念で特に事業を強化した令和6年度ほどではないが、ほぼ同様に事業を実施し、活発な活動を行った。活動実績では活動人数が減少しているが、主な活動が屋外でのごみ拾いであるため、雨天の影響により参加人数が伸びなかったものと考えられる。事業費については、近年の物価上昇に加え、委託料の増加が影響し増加傾向にある。そのため、印刷物の一部を廃止し、デジタルサイネージ等の活用へ切り替えるなど、時代に合わせた手法を取り入れながら、必要な周知効果を確保しつつ経費の抑制に努めている。給与と改定により会計年度任用職員の人件費は増加傾向にあるが、令和6年度は50周年記念事業の実施に伴い正規職員の従事時間(人工)を増やしたため、令和7年度の人件費は令和6年度と比べて減少している。		
今後の事業 の方向性	令和6年度にクリーンよこすか市民の会は設立から50周年を迎えた。この先もきれいで明るく住みよい心豊かなまちづくりを実現するため、「私たちの町は私たちの手によって」を合言葉に、清掃活動やポイ捨て防止を呼びかける啓発活動、また地域とのふれあいを高めるあいさつ運動など継続して実施し、次世代に繋いでいく。あわせて、活動の裾野を広げ、より持続可能な取組とするため、市内企業等と連携した美化活動や啓発の機会を拡充する。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

(1) 事務事業の概要							
支出分類	事業名称	財源構成	事業内容	受益者負担	事業終了の月日	事業費	事業効果

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
------	------	------	----	-------	----	---------	----

分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務				
根拠法令	廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例				
実施計画	大柱	未来につながる環境の保全・創出		分野別計画	一般廃棄物(ごみ)処理基本計画
	中柱	自然環境の保全・活用と循環型社会の推進			
	小柱	③循環型社会の推進			
目標	燃せるごみの中でも大きなウエイトを占めている生ごみの減量化を推進する。 燃せるごみが減少することで、二酸化炭素の排出削減及びごみ処理経費の削減につなげる。				
目標達成に必要なこと	市民に対して生ごみ処理機器の効能を周知・啓発することで、生ごみ減量化に対する意識の向上を図る。				
具体的な事業内容	補助対象となる生ごみ処理機器の購入者に対して、購入経費の一部を補助する。 食品ロス削減に関する出前トークや小学校等でのごどもごみ教室において、生ごみ減量化について啓発を行う。				

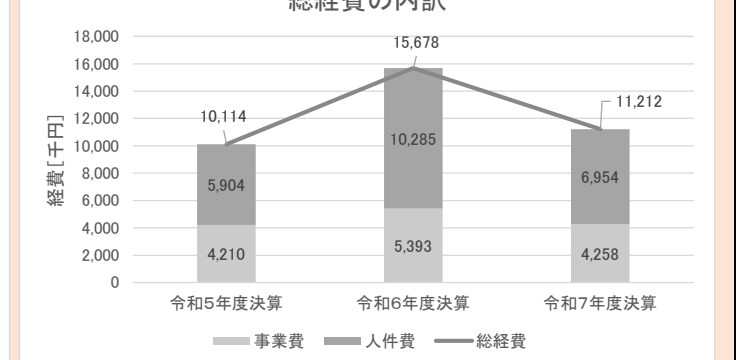
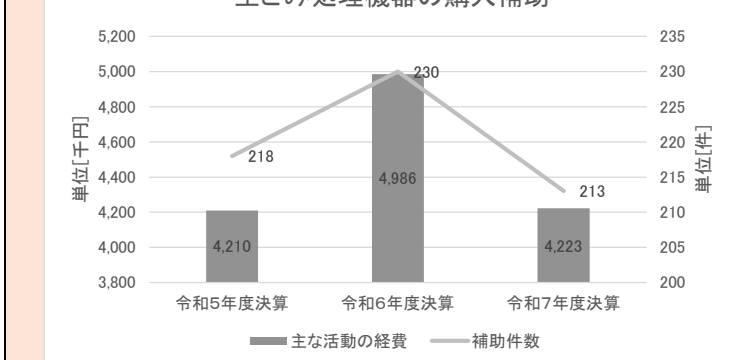
主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
---	---------	-------	-------	-------	----

① 生ごみ処理機器の購入補助	補助件数	218	230	213	件
その他の活動実績	活動（指標）名	令和５年度	令和６年度	令和７年度	単位
②					
③					

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
-----	-----------	-----------	-----------	-----------	----

a	事業費（予算現額・支出済額）	4,210	5,393	4,258	5,185	千円
	主な活動の経費（※上記(2)①）	4,210	4,986	4,223	5,150	千円
	その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）		407	35	35	千円
b	人件費	5,904	10,285	6,954	10,624	千円
	正規職員	0.2	1.2	0.2	1.2	人
	再任用職員（短時間を含む）	0.8		0.9	0.0	人
	会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
	総経費（a + b）	10,114	15,678	11,212	15,809	千円

生ごみ処理機器の購入補助 総経費の内訳



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R5年度⇒R6年度	企業版ふるさと納税を活用し、保育園等に生ごみ処理機器を設置した。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R6年度⇒R7年度	自作キーロの材料費についても補助対象として拡大した。
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	令和6年度と比較し、生ごみ処理機器補助件数及び事業費は減少している。 補助件数の内訳として電気式及び小枝粉碎機の補助件数は減少しているが、非電動型のコンポスト容器及びEM処理容器は微増している。 事業費減少の要因としては、補助件数の減少、特に1件あたりの補助額の平均額が高い電気式(令和7年度平均¥23,348/件)及び小枝粉碎機(令和7年度平均¥16,640/件)の補助件数の減少が要因と考えられる。 人件費は、正規職員から、再任用職員の配備となったことによる減額である。		
今後の事業の方向性	生ごみ処理機器を使うことで、燃せるごみが減少しCO2の排出量及びごみ処理経費の削減につながることから、引き続き事業を継続していく。		